

平成30年度  
事業計画書

新潟市南区社会福祉協議会

## 平成 30 年度 南区社協事業方針・重点目標

### 【基本方針】

地域包括ケアシステムの強化に向け、南区における子ども、高齢者、障がい者などすべての人々が、「地域」「暮らし」「生きがい」を共に創る「地域共生社会」の実現を目指し、福祉課題や生活課題、複合的な課題に対応するため、包括的な支援体制の構築や福祉教育等の推進による福祉人材の確保、育成など地域と協働し、助け合いの仕組みづくりを推進します。

また、新潟市社会福祉協議会総合計画を推進するとともに、南区地域福祉計画・地域福祉活動計画（アクションプラン）の検証を行いながら、支え合い、共に生きる社会を目指し、見守り活動の支援やふれあいいきいきサロン・地域の茶の間の支援、ネットワークづくりを通して、地域の福祉力を高め、住み慣れた南区で安心して生活できるよう、支え合いのまちづくりを進めてまいります。

### 【重点目標】

#### 1. 地域包括ケアシステムの構築

##### ① 生活支援体制整備事業の推進

総合計画（基本目標 Ⅱ 方針 9 ）

- ・「支え合いのしくみづくり」の必要性の更なる周知と、社会資源の把握、発掘に努めます。
- ・地域福祉活動計画にある地区の課題解決に向けた取組を、支え合いのしくみづくり会議構成団体や地区社会福祉協議会とともに進めます。
- ・住民の主体的な活動を支援するため、第2層支え合いのしくみづくり推進員や行政、ボランティアコーディネーターと連携を図り、内外部の関係職員（コミュニティソーシャルワーカー、地域包括支援センター職員、地域生活センター職員等）と協働し推進していきます。

##### ② 見守り活動の支援 総合計画（基本目標 I 方針 1 ）

- ・地域の実情に合った見守り体制の仕組みづくりを推進するとともに、福祉施設、新聞販売店、薬局、消防等関係機関の協力を得ながら、重層的な見守り体制の構築を目指します。
- ・認知症に対する理解を深めるため、認知症サポーター養成講座のPRや認知症徘徊模擬訓練を、行政、地域包括支援センターや警察署と協働で実施し、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを推進します。

③ ネットワークづくり 総合計画（基本目標 Ⅱ 方針 9 ）

・地域包括ケアシステム構築並びに支え合いのしくみづくりに向け、ボランティア団体、住民参加型福祉サービス団体、ふれあいいきいきサロンや地域の茶の間実施団体等、多種多様な組織団体が集まる場づくりを進め、情報交換や交流を図りながら、ネットワークの強化を進めます。

④ ふれあいいきいきサロン・地域の茶の間の支援

総合計画（基本目標 Ⅰ 方針 1 ）

・ふれあいいきいきサロンや地域の茶の間のない地域において、担当民生委員や地域包括支援センター、地区社会福祉協議会、コミュニティ協議会と協働で、意識啓発や立ち上げ支援を行い、誰もが気軽に参加できる場づくりを進めます。

2. ボランティア・市民活動センターの充実

①あらゆる人の社会参加を支援（福祉教育）

総合計画（基本目標 Ⅰ 方針 2 ）

・地域における福祉教育の必要性や重要性を周知し、様々な講座等を企画開催します。

②災害ボランティアセンター運営事業（協働の推進）

総合計画（基本目標 Ⅰ 方針 3 ）

・行政、青年会議所、商工会、日赤等と定期的な打合せ会議を実施し、平時から協働できる関係づくりに努めるとともに、災害ボランティアセンター運営訓練を地域ごとに実施し、連携や互いの役割の知識を深めます。

【新規事業】

- ・ボランティア視察研修事業（ボランティア交流、スキルアップ）
- ・高校進学のための相談支援事業（パンフレット配布、個別相談【全市共通】）

【拡充事業】

- ・福祉教育（地域や企業・事業所への福祉教育の拡大）
- ・コミュニティソーシャルワーク推進事業  
（CSW、SCを中心とした専門職等との更なる連携の強化）